

平成 24 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 阿 部 修 平
(JASDAQ コード番号 : 8739)
問い合わせ先 代表取締役副社長 藤 井 幹 雄
電 話 番 号 0 3 - 5 4 3 7 - 9 7 0 0

当社子会社に係る減損損失等の特別損失計上に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 3 月期 第 3 四半期連結決算におきまして、下記のと通りのれん減損損失を、また単体決算におきまして、下記のとおり関係会社株式評価損を、それぞれ特別損失として計上しましたので、お知らせいたします。

記

1. 「減損損失」等の内容

連結決算におきましては、当社グループが、平成 18 年 6 月に SPARX Asia Capital Management Limited (旧 PMA Capital Management Limited 以下、「SACM 社」) の全株式を取得した際に生じたのれん (平成 23 年 9 月末現在の残高 23 億 97 百万円) につき、当第 3 四半期連結会計期間に計上したのれん償却費を控除した残高 (22 億 71 百万円) の全額をのれん減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、SACM 社のれんについては、以下のお知らせのとおり過年度においても減損処理を行い、特別損失を計上しております。

平成 23 年 2 月 7 日	「当社子会社に係る減損損失等の特別損失計上に関するお知らせ」	平成 23 年 3 月期に 16 億 84 百万円の特別損失を計上
平成 21 年 5 月 20 日	「平成 21 年 3 月期業績の前年実績値との差異および特別損失等の発生に関するお知らせ」	平成 21 年 3 月期に 135 億 15 百万円の特別損失を計上

また、単体決算におきましては、当社の SACM 社株式取得価額 (47 億 85 百万円(注)) と平成 23 年 3 月期において SACM 社株式を再評価した際に計上した投資損失引当金 (16 億 84 百万円) との差額を、関係会社株式評価損 (31 億 1 百万円) として特別損失に計上いたしました。

(注) 当時の英国連結子会社 (現在は清算済み) から、平成 21 年 9 月に当社が SACM 社株式を買い取った金額

2. 「減損損失」等の計上理由

SACM 社の現在の取り組み、不透明な事業環境及び業績等を勘案して回収可能価額を保守的に評価した結果、当第3四半期連結会計期間において、上記「減損損失」等を計上することが妥当と判断いたしました。

なお SACM 社は、今後とも当社グループが一体となって推進する“OneAsia 戦略”において中核的な役割を担うことによって、業績の回復に努めて参ります。

3. 今後の見通し

本件による平成 24 年 3 月期の当社業績への影響（平成 24 年 3 月期 連結・個別の業績と前年実績の差異）は、確定次第開示いたします。

以 上